

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	きゃんデイ		
○保護者評価実施期間	R8年1月19日		R8年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	R8年1月20日		R8年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3人	(回答者数) 3人
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムは5領域の内容を踏まえた上で1週間を通して1つのテーマの活動に取り組み、成長の促進や自己肯定感が高まる支援に取り組んでいる	小さな目標を積み重ねることで個々のスキルアップにつなげ、かつ本人の自信に繋げる活動を提供している。	日々の振り返りを大切にし、その中で課題を見つけ、見つけた課題をクリアできるよう支援し、そして小さなことの積み重ねを大事にしていく。
2	社会体験活動を多く取り入れている	子どもたちのリクエストにも耳を傾け、それを実行することで本人たちの充足感を満たせるようにしている。	今後は公共交通機関を利用しての外出等を計画し、子どもたちの社会性を養っていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ルームの狭さ	建物の構造上、やむを得ない。	テーブル等の配置を考え、活動スペースを確保したり、ゆっくりと過ごせる環境調整を行う。
2	階段や玄関の段差があり、バリアフリーに問題がある	建物の構造上、やむを得ない。	移動の際は必ず一緒に行動し、安全を確保する。
3	スタッフ配置	制度上は人員配置に問題ないが、日々の受け入れ人数によってはスタッフ配置人数が減ることもあり、十分な支援を行えないこともある。	日々の利用者の人数や特性等の状況、スタッフの休みなどに応じて法人内の事業所間で応援を出し合いながらスタッフ調整を行い、安心安全に過ごしてもらえるよう工夫する。